

振興センターだより

からがらす

令和5年6月
60号

佐賀中部農林事務所佐城農業振興センター

普及課

☎0952-45-8888

FX0952-45-8880

〒840-2205

佐賀県佐賀市川副町南里1088

農業企画課

☎0952-45-8881

北部普及課

☎0952-56-2311

FX0952-56-2846

〒842-0301

佐賀県佐賀市三瀬村三瀬2959-1

令和5年度普及活動方針について



きゅうり農家への指導の様子



タマネギ収穫体系の検討



試験飛行するドローン



動方針をお伝えいたします。

この度、佐城農業振興センターに着任しましたセンター長の松尾です。新年度を迎え活

3カ年続いたコロナ禍も落ち着いて農畜産物等の販売額の回復が期待される所です。しかし、近年の物価の高騰は農業の生産コストの上昇のみならず生活費の上昇も招いており、農業経営・農家生活の厳しい状況は依然として続いていくと思います。

こうした情勢の中、当センターでは「農家所得の向上」「農業・農村の持続的発展」をこれまで以上に意識して、5年後に園芸販売額を1.5倍にするための園芸振興対策と新たな水田担い手の育成、販売額1億円を目指すトップレベルの農家を育成します。また、農福連携による労働力補完システムの構築、スマート農業による単収向上及び省力化に取り組みます。

特に、普及活動を行う普及課と各種補助事業等を担う農業企画課が連携し農家の生産・経営課題に効率的に対応していきます。それとともに、農業士を始めとする農家の皆さんや市、JA等の関係機関・団体と連携しながら成果を上げていきたいと考えています。

皆様方のご協力をお願いします。

● 新規課題の紹介 ●

担い手育成体制づくりによる 施設野菜産地の強化

管内では、高齢化、労力不足により施設野菜の産地が縮小しており、担い手育成による産地の振興が望まれています。

そこで、本年度から、管内の主要品目であるイチゴ、ナス、アスパラガスを重点対象として、担い手体制づくりによる産地強化の課題に取り組みます。主に、①地域で担い手を育成する仕組みづくり②産地振興に向けた高収益農家の育成③就農施設の確保及び省力化・労力支援に取り組んでいきます。



いちごさんの圃場の様子

地域で育成する経営感覚に 優れた担い手の育成

管内では高齢化により農業の担い手が減少していく中、産地の振興のために新規就農者の確保・育成が必須となっています。

そこで、関係機関が一体となって就農希望者が円滑に農業を始められるよう支援を行います。また、新規就農者が早期に経営を確立し、経営感覚を養うことで次世代のリーダーとなり、地域の活性化に繋がるよう支援します。



基礎講座を受ける新規就農者

樹園地継承を核としたみかん 産地振興のための体制づくり

果樹産地においては、担い手不足により優良園地であつても廃園化が進む一方で、栽培開始後数年間の未収益期間や収穫労力の不足が新規就農や規模拡大を難しくしており、産地は縮小傾向にあります。

そこで、関係機関と連携し、優良園地の円滑な継承や収穫時の労力支援の仕組みづくり、新規就農者の確保や規模拡大農家の育成を目指します。



農福連携による収穫支援事例

次世代につなぐ効率的で収益性の高い水田農業システムの構築

久保田町は、水系毎の大豆ブロックローテーションにいち早く取り組むなど効率的な水田農業を展開されています。しかし、高齢化による担い手減少が続く中、将来にわたり営農継続できるような体制づくりが求められています。

そこで、関係機関と連携し、担い手への農地集約を進め、米麦大豆の規模拡大やタマネギ等の露地野菜導入拡大を進め、稼げる農業に向け取り組んでいきます。



ワークショップの様子

繁殖牛産地の維持に向けた支援

当センターではJAや家畜保健衛生所等と連携しながら、管内の繁殖農家の飼養管理改善や後継者への継承支援に取り組んでいます。

現在、重点農家で母牛の餌の管理や繁殖状況について調査しており、今後、飼料給与内容や飼養環境の改善等に取組むこととしています。

また、将来の継承に向けた準備を進められている農家に対し、支援を行っていきます。



巡回の様子

稼げる広域営農組織の育成

(株)北山神水川ファームは地域の農地を守る組織として設立し、組織運営の安定化と所得向上を進められています。しかし、中山間地域では露地野菜等による稼げる営農モデルが少ない現状です。

そこで、(株)北山神水川ファームに対し、利益が上がるよう水稲の省力・低コスト技術や露地野菜生産技術の確立、農地のゾーニング等の支援を行います。



サトイモの定植圃場



トピックス



第55回 佐賀県花き園芸共進会 農林水産大臣賞受賞

令和5年2月に行われた「第55回佐賀県花き園芸共進会」において、131点の出品の中から、山口豊喜氏（佐賀市東与賀町）がカーネーション「タイソン」で、栄えある農林水産大臣賞を受賞されました。

山口氏はカーネーションと米麦大豆の複合経営で、50aのハウスで栽培されています。高品質なカーネーションを安定して生産するために、データに基づき適正施肥の徹底や、1本1本丁寧な選花に努められています。3月に行われた花き研修大会では、表彰式後に関係者の前で事例報告を行い、これまでの取り組みについて紹介されました。

本県の花き生産者の牽引役として、今後の更なる活躍が期待されます。



山口豊喜氏

令和5年度ピーマン チャレンジファーム入校式

今年度より脊振・三瀬でスタートしたピーマンチャレンジファーム（CF）の第1期研修生2名の入校式が、4月26日に行われました。CFは、高齢化で生産者が減少する中新たな担い手を増やすと、脊振・三瀬園芸振興協議会が設けた夏秋ピーマンの研修施設です。県内に4か所あるトレーニングファームとは異なり、地元の現役生産者がトレーナーとなり、研修生はトレーナー圃場の隣に設けた圃場にてピーマンの栽培技術や販売等について1年間研修を受けます。また、座学講座では農業の基礎や農業経営等について学びます。

関係機関と連携を図りながら、研修生が来年度から新たな担い手として就農できるよう、全力で支援していきます。

また、令和6年度の第2期生も募集しておりますので、ぜひ北部普及課までお問い合わせください。



ピーマンチャレンジファーム入校式

露地野菜の新規作付、 規模拡大にチャレンジ しませんか!!

県では露地野菜にチャレンジ、さらには規模拡大される方を支援するため「佐賀県露地野菜100億円アップ推進事業」を行っています。

新規作付される場合、生産資材費や種苗費等の購入経費を補助します（ $\frac{1}{2}$ 以内、上限50万円）。さらに、1ha以上の作付けを目指し拡大をされる場合、地目が田であれば、1〜3万円/10aを補助します（助成対象上限5ha）。

この事業は1戸以上の農業者が事業に取組むことができますのでぜひご利用下さい。

1次公募は終了しましたが、2次公募期間は6月21日〜7月21日です。当事業の詳細については、県ホームページまたは左記QRからご確認頂くか、当センター農業企画課までお問い合わせください。



令和5年度佐城農業振興センター職員紹介

◇ 普及課 ◇



野中普及課長

● 園芸担当



【野菜・花き】
田川係長



【野菜・花き】
前島



【野菜・花き】
富永



【野菜・花き】
串崎



【野菜・花き】
岡



松尾センター長

● 経営担当 ● 園芸担当



【経営】
梅下係長



【果樹】
吉田係長



【経営】
大野



【果樹】
青山



【経営(庶務)】
姉川



【果樹】
石丸



栞野副センター長

● 水田農業・畜産担当



【作物】
條島係長



【野菜・花き】
菊池



【作物】
浅川



【畜産】
松尾



【作物】
本田



【野菜・花き】
丹下



【作物】
小柳

◇ 農業企画課 ◇



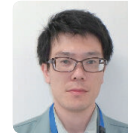
灰塚農業企画課長



坂井係長



池田係長



仲原



高須



糸山

◇ 北部普及課 ◇



【園芸】
陣内係長



平課長



【作物】
吉田



【園芸】
西山



【園芸】
中島



【園芸】
迎

農業大学校学生募集!

佐賀県農業大学校では令和6年度入学生を募集しています。また、農大を紹介する「オープンキャンパス」は、7月2日(日)と8月26日(土)に開催をします。

ご家族やお知り合いの方で興味がある方は、直接、農業大学校にお問い合わせください。

お問い合わせ先

佐賀県農業大学校養成部入試担当

電話 0952-45-2144

農業大学校ホームページ、農業大学校Youtubeチャンネルもご覧ください。



農業大学校HP



農業大学校
Youtube
チャンネル